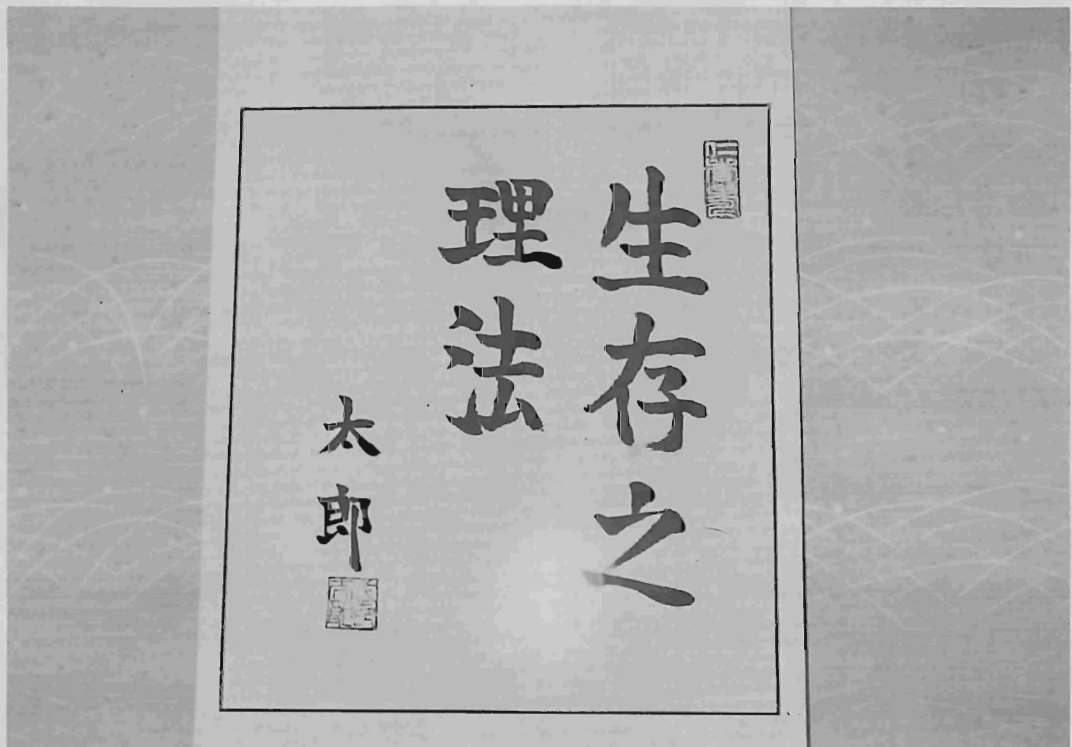


# 生存科学研究所

## ニュース

予報版 昭和60年11月



発行：財団法人 生存科学研究所

〒104 東京都中央区銀座4-5-1

聖書館ビル303

電話 03-563-3518

## 生存科学研究所ニュース発行のお知らせ

生存科学研究所では近じかニュースを発行することになりました。従来研究所に関する情報が関係各位に必ずしも十分に伝達されず、そのため皆様方にご心配やご迷惑をおかけしたこともあったのではないかと思います。今回情報の伝達を迅速に且つ漏れなくするために、簡単なものではありませんがニュースを発行することにいたしました。

故武見太郎先生のご遺業を継ぎ発展させるための活動は、現在当生存科学研究所とともに公益信託武見記念生存科学研究基金、生存科学研究会、ハーバード大学公衆衛生

大学院武見記念国際保健講座とによって行われております。これらの活動は基本的には一体のものであり、互いに協力してその目的の達成に向けて活動するものであります。関係者のご理解を深めるためこのニュースは、研究所をはじめこれら武見先生の遺業を継承する事業全般の活動について凡そその様子をお知らせすることができるようになりたいと考えております。

今回はその予報として、とりあえず現状についての概略をご報告いたします。ニュースについてご意見、ご希望等がありましたら広報係までお寄せ下さい。

## 理事会速報

### 1) 昭和60年度第1回理事会(60年5月23日)

初年度事業報告及び収支決算、60年度事業計画及び収支予算案等について協議し全員異議なく承認されました。

任期満了による新役員の人選については理事長に一任されました。

### 2) 第2回、第3回理事会(60年6月27日)

前回の理事会をうけての理事長提出の新役員候補者の選任が承認され、以下のごとく決まりました。(以下敬称略)

理事長 茅 誠司 副理事長 熊谷 洋  
副理事長 藤井 隆 専務理事 小平敦  
理事 青木 清 飯島敏夫 板垣與一  
大谷藤郎 亀井康一郎 小泉 明  
田村貞雄(新任) 高木文雄  
武見敬三(新任) 筑井甚吉

土屋健三郎 中神倭文夫 中田富士男

中山昌作 不破敬一郎 古沢健彦

安川正彬

監事 鈴木雪夫 三藤邦彦

顧問・技術顧問

石川七郎 井深 大 大江精三

H・H・ハイアット 松前重義 山村雄一

近藤次郎(技術顧問)

評議員

上野公夫 遠藤 勲 大内幸夫

大久保修吉 開原成允 気賀真一郎

吉川 暉 国井長次郎 慶松駿輔

小西新兵衛 佐藤安武 沢啓祥(新任)

高桑栄松 高田 勲 田島達郎

津村 昭 内藤裕次 馬場 甫

藤川正信 藤沢正輝 細谷栄吉

J・マシア 松本洋(新任) 持田信夫  
山口正民

## 生存科学研究所の運営態勢

研究所は、今年度より理事会の意向を受  
て総務委員会が実務に協力することになり  
ました。

## 研究所活動報告

1) 第1回ハーバード大学武見講座国際シ  
ンポジウム・プロシーディング日本語判「21  
世紀の健康政策」出版：講談社より出版予  
定で現在作業中。11月中に完成予定です。  
2) 健康政策研究委員会：59年度の研究を  
終了し報告書を理事長に提出。委員会は健  
康政策研究の体系化のために、健康政策の  
目標と選択課題の関連樹木図を作成しまし  
た。なお昭和60年度の委員会も活動を開始  
しております。  
3) 医薬品開発の長期展望に関する研究委  
員会：59年度の研究を終了、近く報告書を

提出の予定です。

4) 会議「科学と人間」：科学技術を文化や  
経済との関連で社会の中に正しく位置づけ  
るという国際社会の要請にこたえる文化的  
活動として、「科学と人間」の会議を主催す  
ることとなり、すでに会議が開催されてい  
ます。また研究所内部においてもこれと関  
連して「ライフサイエンスを中心とした科  
学技術と人間および社会との調和を図る上  
での問題点の明確化に関する調査研究」も  
行っています。

## 公益信託武見記念生存科学研究基金報告

公益信託生存科学研究基金は現在公益信  
託武見記念生存科学研究基金と改名され、  
故武見先生の奥様武見英子夫人を名誉運営  
委員長に戴き、小平運営委員長のもとに、

特に武見先生の哲学、思想、理念等の資料の  
の収集、整理等をとうしてその業績の発展に  
に取り組んでおります。

## 生存科学研究会報告

昭和60年6月29日の第24回生存科学研究  
会において、研究会の今後のありかたにつ  
いて全員で検討。活発かつ率直な意見交換

の後、メンバーの諸先生のご意見を活かす  
べく、大江先生を中心に運営委員会(仮称)  
を作って今後の運営を図ることになりまし

た。すでに今後の研究テーマとそのための研究会のもちかた、研究成果の普及等につ

いて検討が始まっています。(運営委員、大江、不破、板垣、土屋、小泉、中山)

## ハーバード大学武見講座に関する報告

1986年(昭和61年)には第2回武見講座国際シンポジウムがハーバード側によってボストンで行われることに決定されています。生存科学研究所の推薦による日本からのフェロー1人を含む今年度のフェローも決定され、また前年度に引継ぎ小泉明先生が

客員教授として訪問することになっています。

ハーバードでの武見プログラムによる研究論文、講演会の資料等については逐一ハーバード側より送られてきています。その内容やテーマ等もお知らせいたします。

## 募金、維持会員に関する速報

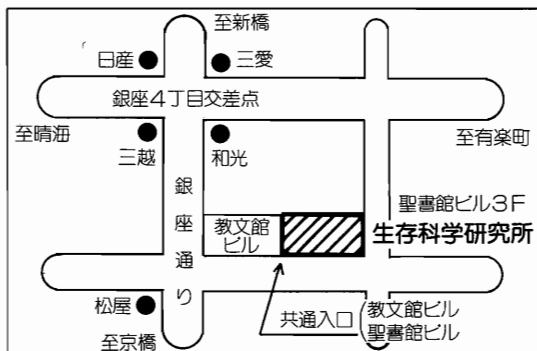
武見先生のご遺志を継ぐ研究を発展させようとの熱心な協力者から多くのご寄付を戴きましたが、募金活動は当初の目標にはまだなかなか及ばないという厳しい状況にあり、維持会員の参加数もまだまだの状況であります。活発に募金活動を展開していますが、皆様方のご協力、とくに生存科学

研究所の活動意義と維持会員制度についての情報伝達をお願いいたします。なお、維持会員については「維持会員に関する委員会」を作って対応を始めており、維持会員のためのシンポジウムや講演会等も企画されています。

## 研究所新事務所のご案内

今年度より研究所事務所は銀座の元武見診療所跡に開設されております。武見先生のご遺品も展示される予定でありますので、

ご用のせつとかがらずお近くをお通りのせつにはお立寄り下さい。



## 生存科学研究所ニュース

発行:財団法人 生存科学研究所  
〒104 東京都中央区銀座4-5-1  
聖書館ビル303  
電話 03-563-3518